

学部・講義：幼児や保育者の姿、保育の現場を思い描きながら 幼児教育の基礎的知識を学ぶ

幼児教育・青井倫子

1. 授業の概要

本科目は、幼年教育の専修科目（1回生対象）であるとともに、保育士コースの必修科目でもあり、(1)幼稚園・保育所の制度・内容・歴史、(2)子ども観・発達観・保育観、(3)環境を通しての教育、(4)幼児期にふさわしい生活、(5)幼児理解のあり方、などに関する基礎的知識の習得をめざすものである。

2. 受講学生 15名

1回生：14名（教育学1名、教育心理1名、幼年教育7名、国語教育1名、家政教育3名、発達障害1名）

2回生：1名（生活環境1名）

3. 授業の工夫

(1)ノートテイクに労を費やさず、授業内容を理解することに集中できるよう、授業は記入式のプリントに従ってすすめた。

(2)学生が自らの意見や考えを持ち、それと照らし合わせながら理解を深めていけるよう（一方的な伝達にならないよう）、発問-応答のやりとりを多く取り入れた。

(3)4年間を見通した際、幼児教育の歴史を学ぶ機会が少ないので『児童中心主義の保育』（森上史朗著）の各章の概要をレポートで提出させた。

(4)幼児教育に関する基礎的な用語や知識を習得させるため、毎授業時に5～7個の用語を指示し、次の授業時まで文献や辞書で調べた内容をレポートにまとめて提出させた。

4. 授業評価の方法

最終授業終了後にアンケート（5段階評定と自由記述）を配付し、記入してもらった。学年・専修・氏名の記入は、個々の学生の自由意思に任せた。

5. 授業評価の結果

5：たいへんそう思う（非常によい）

4：ややそう思う（よい）

3：どちらともいえない（ふつう）

2：あまりそう思わない（あまりよくない）

1：まったくそう思わない（よくない）

(1)学生の自己評価

出席状況 4.9

受講前に問題意識があったか 3.8

意欲的に取り組んだか 4.4

(2)授業に対する評価

テーマ・目的は明確だったか 4.5

話し方は明確・聞き取りやすかったか 4.9

重要なことを強調したか 4.8

プリントに沿った授業は理解を助けたか 4.7

ビデオ視聴は授業の理解を助けたか 4.7

授業への熱意・工夫が感じられたか 4.8

内容・レベルは適切だったか 4.2

宿題は有益なものだったか 4.5

考えが培われたり得るものがあったか 4.6

学問をする雰囲気は保たれていたか 4.7

教職に就くうえで有益だったか 4.8

(3)自由記述

【子ども観、発達観、保育観に関して】

- ・自分の中でふわふわしていた幼児への認識が、受講して新しい知識がどんどん加わることによって色々変わっていき、少しずつ形を成してきていると思った。
- ・後期の最初と最後を比べると、まだ未熟であいまいなものだが少しだけだが自分の“保育観”を持つことができたのではないかと思う。残りの大学3年間、働いてからもずっと自分の“保育観”を求め続けていきたい。
- ・今まで深く考えずに「教育」「保育」「発

達」などの言葉を使ってきたが、授業を通してそれらの意味について学んだり考えたりできた。

【幼児とのかかわり方について】

- ・ 受講前と後とでは、幼児に接するときの考え方が変わった。保育者になる私の存在は子どもたちに大きな影響を与える重要な存在であり、ただかわいいと思いながら接していた自分を見直していく必要があると思った。
- ・ 保育士の一つ一つの行動にはねらいがあり、ねらいを持って子どもに接するためには多くの知識が必要なのだと感じた。実際に子どもと触れ合うことも大切だが、十分な知識を身につけておくことが重要だと思った。
- ・ 短時間のかかわりの中でも幼児の心情が刻々と変わっていくようすが多くあり驚いた。保育者の何気ない行動の中にもたくさん意図があるんだなと思った。
- ・ 子どもにどのように接すればよいか、子どもとその発達をどのように捉えていけばよいかを、幼児教育の歴史とともに学ぶことができ、保育者の観点に一步近づけたのではないかと思っている。
- ・ 幼児における遊びの重要性についても知ることができ、観察や実習の時には、その遊びによって幼児がどのような力を身につけることができるのかということも考えていきたい。

【授業内容全般について】

- ・ 幼児教育の専門的な知識が増えていくことが実感できるこの授業は、とても自分のためになると感じ、宿題もやってよかった！という達成感が残っている。
- ・ 現在の幼児教育・保育に求められていることを知ることができ、とても有意義だった。
- ・ 毎回内容がすごく深くて、時間が経つのがあっという間だった。
- ・ 大変刺激的で多くの学びを得ることができた、とても有意義で楽しい授業だった。

【授業の進め方、学習の仕方について】

- ・ 幼稚園教育要領を見るだけでなく、それがどのような意味を持つのか、どのような場で生かされているのかを考える点がよかった。
- ・ どのような意味を持つのか、どのような

場面に当てはまるのかと、自分で考えて理解していくことが重要だと感じた。今後の学習においても心がけていきたい。

【教科書・プリント・ビデオ等について】

- ・ 講義で説明を受けても感覚をつかめないことがあるので、ビデオ視聴があることで助かった。
- ・ 難しいところは参考のプリントを用意してくれたり、例を挙げて教えてくれたりしたので、自分の中でイメージできてとてもわかりやすかった。

【課題について】

- ・ 分からないことがあれば自らすぐに調べて、自分のものにしていこうとする習慣が身についた。疑問を明らかにしていく楽しさを味わうことができた。今後も自分の中に生じる「なぜ」を大事にし、知識を深めていきたい。
- ・ 今まで知らなかった知識を、自分でしっかり考えながら学ぶことができてよかった。調べるといふことの大切さを学んだ。
- ・ 用語調べで出てきた語句が授業に出てくると、意味を理解しているのでよく分かり嬉しかった。
- ・ 苦勞したし、苦痛だったが、知識が増えていくことはおもしろく、自ら主体的に学ぶ重要性和楽しさを改めて感じました。

【自分の専門教科との関連】

- ・ 自分の専門である特別支援教育と幼児教育・保育は、子どもがよりよく学びを行っていくために環境を整えることや子どもの発達の状況を捉えることなどの点で似ていると感じ、幼児教育・保育の観点から特別支援教育を見ることも可能ではないかと思ったので、これからの学びに生かしていきたい。

【その他】

- ・ この授業でしたように、「何でかな？」と疑問をもち、自分なりに答えを考えてみるということをもっとして、考えや理解を深めていきたい。
- ・ 自分の知りたい知識、知らなければならぬ知識を自分のものにするためには、自分でしっかり調べ、自分の言葉で説明できるようになっておく必要があるということ学んだ。
- ・ この授業を受けて、幼稚園教員になりたいという夢がさらに深まった。